

令和4年度 社南小学校スクールプラン

《学校教育目標》

未 来 を 創 る

〈めざす児童像〉

み 自ら考え 行おう子 な 何かにチャレンジ していく子 み みんな仲よく 助け合う子

(研究主題)

つながりあって 生き生きと学び合う

～自分を表現し、未来をみつめる子の育成～

○教師の願い

- ・学校生活を通して、基本的な生活習慣・学習習慣を身につけ、学力・体力の向上を図る。(特に語彙力)
- ・みんなとなかよく助け合う、思いやりの心を育む。

○保護者・地域の願い

- ・勉強や運動をがんばることができる。
- ・気持ちのよい元気なあいさつができる。
- ・安全に通学し、安心して生活できる。

児童の実態

- (1) ルールを守ったり、課題にまじめに取り組んだりすることができる。
- (2) じっくりと聴き、じっくりと考え、自発的に行動する面に課題がある。

○福井市学校教育方針

「学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～」

○至民中学校区教育の目標

「地域・家庭と連携して、生きる力を育てる」
～自ら学ぶ姿勢を大切にしたい小中連携教育の推進～

全国学習学力状況調査結果から

- (1) 文章を読み取り文意をつかんで考える力を高める。
- (2) 目的に応じて自分の考えを書く力を高める。
- (3) 多角的に考え、算数用語で表現する力を高める。
- (4) 操作活動を取り入れたり、考えを視覚化したりする活動を増やす。

【重点目標 (◎) と具体的な取組 (・)】

学びに向かう人間性の育成

- ◎児童理解を深め、支え合う・認め合う学校・学級づくりを行う。
 - ・心のチェックカードをもとに、年2回の個人面談を行い、一人一人の状況を正確に把握する。
 - ・各学級でのスピーチ活動を通して、児童がお互いに認め合う場を設ける。
 - ・ケース会議、校内支援会議を速やかに行い、保護者、関係機関と連携して、いじめや不登校等の諸問題の早期解決に努める。

【学校が楽しい児童 92%以上】

- ◎命を大切にし、思いやりの心を育む道徳教育の充実を図る。
 - ・道徳科では、「考え、議論する」ことによって、自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりできるよう学習活動を工夫する。

【道徳の時間に考えを深めることができている児童90%以上】

わかる・できる授業づくり

- ◎学びをつなぐサイクルを意識し、学習活動の充実を図る。
 - ・「自分で考える」→「みんなで考える」→「深める」を繰り返す授業展開をする。
 - ・ペアやトリオ、グループなど効果的な学びの場を設定する。
 - ・学びのアウトプットを増やし、自分の足跡をふり返る機会を増やす。
 - ・ICT機器を活用し、習熟度に応じた学びや協働的な学びをデザインする。

【自分の意見を積極的に伝えている児童 70%以上】

- ◎キャリア教育に関わる教育課程の明確化を図る。
 - ・キャリア教育に関わる学習内容を明確にし、子どもたちの将来につながる活動の充実を図る。

【将来の夢やめざす目標をもっている児童 85%以上】

【数値目標】

たくましい体づくり

- ◎楽しく運動量のある体育学習を行うことで、運動に親しむ習慣を育成する。

- ・楽しく(できる・わかる・かかわる)運動に取り組めるように、朝のさわやか体操の充実を図る。

【体力テストの成績「県平均以上」を5種目以上】

- ◎家庭・地域と連携し、望ましい生活習慣の育成を図る。

- ・学校保健委員会等を通して「早寝・早起き・朝ごはん」を意識して取り組めるような児童を育成する。
- ・「社南スマートルール」について定期的に家庭で考える機会をもち、徹底を図る。

【起きる時刻、寝る時刻を決めて生活できている児童 80%以上】

地域に根ざした学び

- ◎家庭・地域との連携を密にし、ふるさと‘社南のまち’を愛する子の育成を図る。

- ・学校だよりや学年だより、ホームページなどにより、教育活動を積極的に発信する。
- ・地域の人・自然・歴史・文化を生かした学びの充実を図る。

【月1回以上の発信】

【地域や家族などに対して役に立ちたい児童 90%以上】

* 業務改善のための取組

- ・「ノー残業デー」の徹底
- ・教材や資料の共有
- ・ペーパーレス化の推進
- ・終了時刻の明確化による会議時間の短縮
- ・月ごとの超過勤務80時間以上の職員ゼロ

